

目黒区立体育施設指定管理者
運営評価結果報告書
(令和 5 年度)

令和 6 年 7 月

目黒区立体育施設指定管理者運営評価委員会

I 評価基準及び評価方法について

1 運営評価の目的

指定管理者の運営評価は、指定管理者が行った目黒区立体育施設の管理運営業務が当初の提案内容どおりに実施されたか、それにより適切な住民サービスが提供されたかについて毎年継続的に評価し、その結果に基づき区と指定管理者が相互に連携し、業務の改善を図り、より一層の「住民サービスの向上」と「経費の効率的な活用」を推進することを目的とする。

2 運営評価の方針

運営評価にあたっては、公平・公正な評価を実施するため、指定管理業務全般にわたる評価項目及び評価基準とする。

また、評価にあたっては、数値化〔点数評価〕するとともに、その結果が運営評価後の業務に生かされるよう所見〔所見評価〕を加える。

3 運営評価の単位

指定管理者に対する運営評価は、指定管理の単位ごとに行う。

指定管理の単位	名 称
A	駒場体育館、駒場プール、駒場庭球場・ゲートボール場
B	目黒区民センター体育館、目黒区民センタープール、目黒区民センター庭球場
C	碑文谷体育館、碑文谷野球場、碑文谷庭球場
D	中央体育館
E	八雲体育館、宮前公園庭球場
F	砧野球場、砧サッカー場（区外施設）

4 評価項目及び評価基準

評価項目及び評価基準は、各グループ共通とし、具体的内容は次表のとおりとする。

評価項目は、大きく次の3項目とし、22の中項目を定めた。

- ① サービスの実施に関する事項
- ② 経営能力等に関する事項
- ③ 管理運営経費の効率的な活用

5 評価項目及び評価基準

I サービスの実施に関する事項 (配点80点)		配点
(1) 運営方針		5
(2) 事業方針		5
(3) 利用率向上		5
(4) 利用者サービス向上		10
(5) 幅広い対象者に向けた事業提供		5
(6) 地域住民・団体に対する連携・支援の取組		5
(7) 区民や区内事業者の積極的な活用		5
(8) 公平な利用の確保		5
(9) 利用者ニーズの把握・反映		5
(10) トラブル・苦情対応		5
(11) 総合型地域スポーツクラブへの理解と支援		5
(12) 選定時の提案内容・事業の実施の有無		20
II 経営能力等に関する事項 (配点65点)		
(1) 団体の経営状況		10
(2) 管理運営体制		10
(3) 施設・附属設備・物品の維持管理		5
(4) 研修体制		10
(5) 個人情報保護及び情報公開の取組		5
(6) 安全・安心な運営の取組		10
(7) 事故などの危機管理体制		10
(8) 環境配慮		5
III 管理運営経費の効率的な活用 (配点15点)		
(1) 収支状況の妥当性		5
(2) 収益増加の取組		10

合計	160点満点
----	--------

6 評価方法

評価委員会において、指定管理者から提出された事業報告とあわせて、利用者アンケートの結果、指定管理者の自己評価等を参考に、評価基準ごとに点数評価し、その総得点をもって総合評価を行う。第4期指定期間の募集要項では、東京 2020 レガシー事業や ICT の利活用などを盛り込み、社会情勢の変化等を踏まえて区民ニーズに合うスポーツ事業の提案を求めた。このため、第4期指定期間の募集要項に即した評価ができるように第3期指定期間の評価基準を改編し、重要視する項目の配点を高くするなどの見直しを行った。これに伴い、125点満点から160点満点に変更した。なお、総得点は各評価委員がつけた点数の平均値とした。

また、今回の評価結果が今後の施設運営の参考となり、より良いサービスの提供と適切な管理運営に生かせるよう、所見評価及び改善事項等を付記する。

なお、評価点数については次のとおりとする。

ア 評価基準ごとの点数

	点数
十分水準を超えている	5（10～9）（20～17）
水準を超えている	4（8～7）（16～13）
水準に達している	3（6～5）（12～9）
水準に達していない	2（4～3）（8～5）
かなり水準を下回っている	1（2～1）（4～1）

※（ ）内は、配点10、配点20のとき

イ 総得点に対する総合評価

全ての項目が「3」（配点10の項目は「6」、配点20の項目は「12」）であった場合の総得点「96点」を最低とし、それより低い場合は、「不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である」と評価する。

また、総合評価においては「適正な管理運営ができています」以上の得点であるが、個別の評価項目に評価点数「1」（配点10の項目は「2以下」、配点20の項目は「4以下」）がついた場合についても、「不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である」と評価する。

総得点	総合評価
144点以上	特に優れた管理運営ができています
115点以上144点未満	優れた管理運営ができています
96点以上115点未満	適正な管理運営ができています
96点未満	不適切な管理運営の状態が多く、指定の継続が困難な状況である

（満点：160点）

Ⅱ 令和5年度管理運営業務の評価結果

「Ⅰ 評価基準及び評価方法について」に基づき、次のとおり評価した。

1 総合評価

平成20年度から全ての区立体育施設（14施設）について指定管理者制度を導入し、今回、第4期1年目の運営評価を実施した。

評価項目は、目黒区立体育施設の特性を考慮し、「サービスの実施に関する事項」、「経営能力等に関する事項」、「管理運営経費の効率的な活用」の3項目に分けて、対象施設の管理の単位（グループA～F）ごとに評価を行った。

結果、3施設において、「優れた管理運営ができています」、3施設において、「適正な管理運営ができています」と評価した。

なお、更なる管理運営の向上に向けて、今後の課題や検討事項について意見を付したので、適切な対応等を図ることを各指定管理者に求める。

グループ名	対象施設	指定管理者名	総得点 (160点満点)	令和5年度 総合評価
A	駒場体育館 駒場プール 駒場庭球場・ゲートボール場	株式会社オーエンス	118.0	優れた管理運営ができています
B	目黒区民センター体育館 目黒区民センタープール 目黒区民センター庭球場	ミズノグループ(※)	111.3	適正な管理運営ができています
C	碑文谷体育館 碑文谷野球場 碑文谷庭球場	特定非営利活動法人スポルテ目黒	111.0	適正な管理運営ができています
D	中央体育館	特定非営利活動法人目黒体育協会	115.5	優れた管理運営ができています
E	八雲体育館 宮前公園庭球場	シンコースポーツ株式会社	108.5	適正な管理運営ができています
F	砧野球場 砧サッカー場 (区外施設)	協栄・目黒体育協会グループ(※)	117.5	優れた管理運営ができています

(※) は共同企業体

2 評価詳細

(1) グループA

(駒場体育館、駒場プール、駒場庭球場・ゲートボール場)

ア 総合評価結果

総得点 (160点満点)	総合評価
118.0	優れた管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・ホームページのリニューアルなど利用率向上に努めている。・提案内容の実現に取り組んでいる。・コロナが第5類に移行したことによるものか、教室・講習会、交流機会事業、無料公開事業等、令和5年度の利用は前年度に比べ増加していることは評価できる。・各世代がスポーツに親しむ機会が設けられている。・駒場住区の事業に参加していることは評価できる。・区の競技団体やスポーツ推進委員を指導者人材として活用している。また、地域の実行委員会に行事運営を依頼している点は評価できる。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・研修の取り入れがよい。・管理の態勢が整っている。・研修は十分に行われていると思われる。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">・細かい視点で対応している。・概ね収支計画に大きな乖離がないことは評価できる。・収支差の30% (427,512円) を区に還元。

ウ 今後の課題や検討事項等

- ・北部の体育館として駒場住区に偏重しないように更に広くかかわってほしい。
- ・こま散歩の参加者が少なく残念。工夫を。
- ・こまばサンデースポーツのクラブ化を期待している。
- ・各種教室等のチラシ配布について、新たな組織や団体への配布等工夫を。
- ・知的障害者スポーツ教室はそれなりの参加があると思う。一方、昨年度チラシ配布先に障害関係団体等を入れるよう指摘したが、その後の対応がわからない。配布先に変化がないように思われる。
- ・受付、指導員等への苦情も見られ、その都度対応を行ってはいるが、接遇等に関する研修を強化する必要がある。
- ・選定時の提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。

評価項目等			配点	株式会社 オーエンス
Ⅰ サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	4.0
	(2)	事業方針	5	3.8
	(3)	利用率向上	5	4.0
	(4)	利用者サービス向上	10	7.0
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4.0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	4.3
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.5
	(8)	公平な利用の確保	5	3.8
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3.8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3.5
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3.0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	14.3
計1			80	58.8
Ⅱ 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	7.0
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.5
	(4)	研修体制	10	7.0
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	4.0
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7.3
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7.3
	(8)	環境配慮	5	4.0
計2			65	48.0
Ⅲ 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	4.0
	(2)	収益増加の取組	10	7.3
計3			15	11.3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	118.0

(2) グループB

(目黒区民センター体育館、目黒区民センタープール、目黒区民センター庭球場)

ア 総合評価結果

総得点 (160点満点)	総合評価
111.3	適正な管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・全体に安定している。外国人対応がよい。・ワンコインプログラム (500 円) が多くの集客となっており、評価できる。・令和 5 年度の課題であった多様な事業実施等も行われている。・目黒リバーサイドフェスティバルでの小銭入れ&ミサンガづくりには 170 名を超える参加があり、地域行事への取組として評価できる。・介護予防体力向上教室・歩行機能向上教室・椅子エクササイズ、また高齢者の介護予防トレーニング説明、相談会などフレイル予防の観点からも大事な事業である。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・個人情報の溶解処理が加わった。・危機管理マニュアルは良くできている。・様々な研修が実施されている。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">・老朽の対応など努力している。・利用料収入や物販収入は増加することができた。

ウ 今後の課題や検討事項等

- ・地域の体育館というより目黒区全体の体育館として認識されている面があるので、近隣地域との連携は難しいと思うが、もっと努力をしてほしい。
- ・障害者プログラムの設置を早急に。
- ・障害者トレーニングジム講習会も中止となり、障害児・者向けのプログラムの実施ができていない。障害者の社会参加、スポーツに親しむ、障害児・者の居場所づくりといった観点からも教室や交流事業の実施が必要。
- ・昨年度同様、収益の一部還元ができていない。
- ・選定時の提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。

評価項目等			配点	ミズノグループ
Ⅰ サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	4.0
	(2)	事業方針	5	4.0
	(3)	利用率向上	5	3.8
	(4)	利用者サービス向上	10	7.3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4.0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	4.0
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.8
	(8)	公平な利用の確保	5	4.0
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3.8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	4.0
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	2.8
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	8.0
計1			80	53.3
Ⅱ 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	7.3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.5
	(4)	研修体制	10	7.5
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	4.0
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7.5
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7.5
	(8)	環境配慮	5	3.8
計2			65	49.0
Ⅲ 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	2.5
	(2)	収益増加の取組	10	6.5
計3			15	9.0
評価得点計(計1+計2+計3)			160	111.3

(3) グループC

(碑文谷体育館、碑文谷野球場、碑文谷庭球場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
111.0	適正な管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすいプログラムになっている。 ・前年度に比べ教室、交流事業、無料公開で利用者が大きく増加していることは評価できる。 ・シニア向けの各種教室が充実し、参加率が増加していることは評価できる。特に「かんたん機能改善教室」などはフレイル予防のためにも継続してほしい。 ・心を開くことができない子ども達を支援する事業であるスポレク教室（4期開催/体操編）に多くの子どもが参加しており、ぜひ継続して実施してほしい。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路図が記載されており、よく整備されている。 ・避難所運営協議会や自治会の避難所訓練に参加しており、地域避難所としての役割を果たすうえでも重要である。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの事業で収支差がプラスとなっており評価できる。 ・収支差の215,344円を区に還元。

ウ 今後の課題や検討事項等

- ・巡回点検を徹底する。
- ・健康相談が前年比でよくないので検討してほしい。
- ・危機管理マニュアルは、目次とページをつけ、様式や条例等は資料編にするなど整理が必要。
- ・利用者アンケートにおいて、他の施設と比較して、利用方法や掲示がわかりにくいという割合が高いことについて分析が必要。
- ・昨年も指摘したが、業務に関する研修が中心となっており、人権、危機管理、個人情報保護に関する研修の実施と参加がみられない。
- ・選定時の提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。

評価項目等			配点	特定非営 利活動法 人スボル テ目黒
Ⅰ サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	4.0
	(2)	事業方針	5	3.8
	(3)	利用率向上	5	4.0
	(4)	利用者サービス向上	10	6.5
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4.0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	4.0
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.8
	(8)	公平な利用の確保	5	3.5
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3.8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3.5
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	4.3
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	9.8
計1			80	54.8
Ⅱ 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	7.0
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.5
	(4)	研修体制	10	6.8
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3.5
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	6.3
	(7)	事故などの危機管理体制	10	6.8
	(8)	環境配慮	5	3.8
計2			65	45.5
Ⅲ 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3.8
	(2)	収益増加の取組	10	7.0
計3			15	10.8
評価得点計(計1+計2+計3)			160	111.0

(4) グループD

(中央体育館)

ア 総合評価結果

総得点 (160点満点)	総合評価
115.5	優れた管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・交流機会の充実。工夫がみられ参加しやすい場づくりができています。 ・貸し切り利用率、一般開放・教室の利用者増は評価できる。 ・ビームライフル、ビームピストルなど利用枠を増やしたことで、利用者増につながるなど工夫がみられる。 ・「スポーツ de 障がい者交流会」は障害者のスポーツ参加、地域の方の障害者スポーツ理解の場となっている。新たに参加する障害者施設も増えている。午前、午後で参加者を区分けしているようだが、障害者と地域住民が交流できるようにすればなお有意義である。 ・地元高校生がボランティアとして事業に協力しており、評価できる。 ・ふれあいスポーツ広場は継続的に開催されており、障害者のスポーツの場として評価できる。 ・高齢者向けのプログラム増は評価できる。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者対策が優れている。 ・各種研修については適切に実施されている。 ・個人情報保護、コンプライアンス、人権研修は全員を対象に実施している。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画との乖離の少ない運営と区への還元は評価できる。 ・人件費が大幅に支出減となっており、収支差額が 1,514 万円、区への還元金が約 450 万円となった。

ウ 今後の課題や検討事項等

<ul style="list-style-type: none"> ・対策の強化。館外に出なければならないときの経路や対策。家屋が密集しているので一層の強化を。 ・各事業のチラシ・ポスターや館だよりなど多くの紙媒体の広報を作成している。配布先が目黒区内の施設への配布とされているが、情報が住民に届くような有効な配布方法となっているか。 ・選定時の提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。
--

評価項目等			配点	特定非営 利活動法 人目黒体 育協会
Ⅰ サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3.8
	(2)	事業方針	5	4.0
	(3)	利用率向上	5	4.0
	(4)	利用者サービス向上	10	7.0
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4.0
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3.8
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.8
	(8)	公平な利用の確保	5	3.3
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	4.0
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3.3
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3.3
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	13.3
計1			80	57.3
Ⅱ 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	7.0
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.8
	(4)	研修体制	10	6.5
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3.5
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7.5
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7.0
	(8)	環境配慮	5	3.8
計2			65	47.0
Ⅲ 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	4.0
	(2)	収益増加の取組	10	7.3
計3			15	11.3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	115.5

(5) グループE

(八雲体育館、宮前公園庭球場)

ア 総合評価結果

総得点 (160点満点)	総合評価
108.5	適正な管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・前年度に比べ教室、交流事業、無料公開、健康体力相談など利用者が大きく増加していることは評価できる。・健康運動指導士による月イチ講座は、毎回興味のあるテーマ設定で受講意欲が湧くものとなっている。また栄養講座も毎回興味のあるテーマ設定となっている。・親子のびのびフィットネスは子どもも参加しやすく人気があり、継続してほしい。・キッズとび箱教室、キッズマット運動教室、キッズ体操教室、ボール投げ教室など子ども向け教室が充実しており、スポーツに親しむ導入として評価できる。・ゆっくりプログラム「日常生活動作UP教室」などフレイル予防として有意義である。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・近隣住民への館チラシのポスティングは有効な方法である。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">・ポスティングなど地道に行っている。

ウ 今後の課題や検討事項等

- ・健康教室（メディカルチェック）は実人数をみると少ない。一層のPRを。
- ・利用者アンケートにおいて、他の施設と比較して、利用方法や掲示がわかりにくいという割合が高いことについて分析が必要。
- ・利用料収入が予算額を達成できていない。・障害者向けのプログラムが不十分。
- ・苦情やトラブルはモニタリングやアンケートにより収集しているとのことだが、苦情・要望への対応状況が他の施設と比べ極端に少ない。苦情・要望事項の収集方法や基準を見直す必要はないか。
- ・庭球場の職員研修（シルバー人材センター）については、接遇研修のみであり、事故対応、個人情報保護等、幅広く実施することが必要。
- ・選定時の提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。

評価項目等			配点	シンコースポーツ株式会社
Ⅰ サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3.8
	(2)	事業方針	5	4.0
	(3)	利用率向上	5	4.3
	(4)	利用者サービス向上	10	7.5
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	4.3
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3.8
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.8
	(8)	公平な利用の確保	5	3.3
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3.3
	(10)	トラブル・苦情対応	5	2.8
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3.0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	11.0
計1			80	54.5
Ⅱ 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	6.5
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.5
	(4)	研修体制	10	6.8
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	3.5
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	5.8
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7.0
	(8)	環境配慮	5	3.8
計2			65	44.8
Ⅲ 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3.0
	(2)	収益増加の取組	10	6.3
計3			15	9.3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	108.5

(6) グループF

(砧野球場、砧サッカー場)

ア 総合評価結果

総得点（160点満点）	総合評価
117.5	優れた管理運営ができています

イ 区分別評価

I サービスの実施に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・トイレなど利用者に配慮ができています。・利用団体への説明ができています。・ホームページを利用し、施設設備等をPRしている。・野外施設として熱中症対策をすすめ、テントとミストシャワーの設置、保冷剤の用意等対策を講じている。
II 経営能力等に関する事項	<ul style="list-style-type: none">・適切にされている。・個人情報保護、人権、コンプライアンス研修などが実施されていることは評価できる。
III 管理運営経費の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none">・収支差額が400万円、区への還元金が約120万円とすることができた。

ウ 今後の課題や検討事項等

- ・グラウンドと通路の問題、通行可能な河川敷の問題は立て札よりも分かりやすい表示を。また利用者に周知徹底を。
- ・平日の利用を高齢者グループに周知。
- ・提案資料に記載された事業の計画的な実施に期待する。

評価項目等			配点	協栄・目黒 体育協会 グループ
I サービスの実施 に関する事項	(1)	運営方針	5	3.8
	(2)	事業方針	5	3.8
	(3)	利用率向上	5	4.3
	(4)	利用者サービス向上	10	7.3
	(5)	幅広い対象者に向けた事業提供	5	3.5
	(6)	地域住民・団体に対する連携・支援の取組	5	3.8
	(7)	区民や区内事業者の積極的な活用	5	3.5
	(8)	公平な利用の確保	5	3.8
	(9)	利用者ニーズの把握・反映	5	3.8
	(10)	トラブル・苦情対応	5	3.5
	(11)	総合型地域スポーツクラブへの理解と支援	5	3.0
	(12)	選定時の提案内容・事業の実施の有無	20	14.8
計1			80	58.5
II 経営能力等 に関する事項	(1)	団体の経営状況	10	8.0
	(2)	管理運営体制	10	7.3
	(3)	施設・附属設備・物品の維持管理	5	3.8
	(4)	研修体制	10	7.0
	(5)	個人情報保護及び情報公開の取組	5	4.0
	(6)	安全・安心な運営の取組	10	7.5
	(7)	事故などの危機管理体制	10	7.5
	(8)	環境配慮	5	3.8
計2			65	48.8
III 管理運営経費 の効率的な活用	(1)	収支状況の妥当性	5	3.8
	(2)	収益増加の取組	10	6.5
計3			15	10.3
評価得点計(計1+計2+計3)			160	117.5

1 目黒区立体育施設指定管理者運営評価委員会委員名簿

氏名		所属	専門分野・経歴等
1 学識経験者			
委員長	きむら かずひこ 木村 和彦	早稲田大学 スポーツ科学学 術院教授	【専門分野】 スポーツ経営学 【経歴】 中央教育審議会スポーツ青少年分科会委員 東京都「体育施設」指定管理者選定委員 東京国体施設専門委員会委員長 東京都スポーツ振興審議会委員 東京都地域スポーツクラブ育成協議会副会長（現職） 東京都体育協会評議委員（現職） 日本スポーツ協会スポーツ医・科学委員会委員（現職） 東京都スポーツ推進モデル企業審査委員長（現職）
委員	せきね まさとし 関根 正敏	中央大学 商学部准教授	【専門分野】 スポーツ経営学 【経歴】 多摩市立総合体育館等指定管理者候補者選定委員会 委員 日光市公の施設指定管理者選定委員会 委員 栃木県体育施設指定管理者選考委員会 委員 第77回国民体育大会栃木県準備委員会 専門委員 日本体育・スポーツ経営学会 理事（現職）
2 区民			
委員	やまだ ひであき 山田 秀昭	東山住区住民会 議	東山住区住民会議
委員	こばやし せつこ 小林 節子	中根住区住民会 議会長	中根住区住民会議会長
3 外部有識者（アドバイザー）			
	みうら たいし 三浦 泰史	東京税理士会 目黒支部	【専門分野】 税務・会計 【資格】 公認会計士 税理士

2 評価経過

令和6年5月29日	目黒区立体育施設指定管理者運営評価委員会 ・令和5年度指定管理業務の運営評価について
令和6年6月24日	目黒区立体育施設指定管理者運営評価委員会 ・令和5年度指定管理業務の運営評価結果の確定について

以 上